

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

(目 次)

① 法人本部	3P
② 障害児入所施設わかふじ寮	11P
③ 放課後等デイサービス事業所わかふじ	19P
④ 相談支援事業所わかふじ	27P
⑤ 障害者支援施設レジデンスわかふじ	31P
⑥ 障害者支援施設わかふじ寮	39P
⑦ 多機能型事業所四万十工房	49P
⑧ 生活介護事業所ごり工房	57P
⑨ 共同生活援助事業所ぼっちり村	63P



令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：法人本部事務局



# 令和3年度 法人本部 事業報告書

## 1. 事業概要

令和2年度に続き、新型コロナウイルスの影響で、予定をされていた事業等を変更や中止となった為、利用者の施設外活動や外泊や面会等について感染拡大防止のために制限をさせて頂くこととなりました。結果、利用者を始め家族の方々には感染対策とはいえ、昨年同様、不安と不便を感じさせてしまった1年でありました。

そうした状況下において、利用者および職員に対する2回のワクチン接種を実施させて頂き、感染防止に努めてまいりました。しかし、1月末に法人内の事業所にて総勢23名の新型コロナウイルスのクラスターが発生し、保護者をはじめとする関係各所の皆様にご心配をお掛けすることとなりましたが、職員を始め、関係者の皆様のご尽力により収束することが出来ました。ただ、発生時の対応等について課題も沢山見えてきましたので、今後はこの教訓を生かして、次年度への課題として取り組んでまいります。また、長年課題となっておりました保護者会からの寄附金の取り扱いについても、1年掛けて保護者会会長と協議を重ねさせていただき、双方合意の上で一応の取り決めを交わすことができました。

人事管理としましては、正職員への登用試験を実施し、今年度は5名を合格とし、令和4年度から正職員として採用することとなりました。これは、昨年度同様に退職された職員の補充と、全職員に占める正職員の比率を高めることを目的に多くの職員を採用いたしました。

情報発信につきましては、四万十工房で商品販売の為のECサイトを立ち上げることが出来ました。今まで、製造した商品をエンドユーザーまで直接届ける仕組みが出来ておりませんでしたので、少しでも取り組みの紹介や購買に繋がるよう立ち上げ、法人のホームページやネットショッピングサイトを通じて販売をすることが出来るようになりました。

今後も、コロナウイルスの対応等をしっかりと検討・実施しつつ、利用者が満足できるサービスを提供するとともに、社会から信頼される法人体制を維持し、全員が一体感を持った組織を構築してまいります。

## 2. 実施項目

### (1) 経営改善の取り組み

#### ① 新型コロナウイルス感染対策の徹底

- ・新型コロナワクチングループ接種の実施

回数	実施日	実施場所
1回目	令和3年7月26日～30日(5日間)	医療法人和光会 木俣病院
2回目	令和3年8月16日～20日(5日間)	

・接種状況

拠点	事業所名	1回目	2回目
古津賀	障害児入所施設わかふじ寮	5	5
	障害者支援施設レジデンスわかふじ	19	19
	放課後等デイサービス事業所わかふじ	7	7
蕨岡	障害者支援施設わかふじ寮	34	32
	短期入所等	1	1
岩田	共同生活援助事業所ぼっちり村	35	34
	生活介護事業所ごり工房	3	3
	多機能事業所四万十工房	3	3
合計		107	104

② 保護者会の寄附金の取り扱いについて

【 寄附金の使用内容と使用方法 】

- ・ 寄附金を各拠点で分配し、拠点ごとに使用をする。分配方法については、平成 27 年 11 月 30 日時点における各拠点施設の入所者人数で均等割りをする。
- ・ 令和 4 年度以降、利用者の為のイベント等を毎年 40 万円程度の予算で実施し、利用者に喜んで頂けて心が豊かになる為の費用として使用していく。
- ・ 予算の管理については、法人本部で管理し、計画に基づいて各拠点に分配していく。
- ・ 毎年の予算執行に関する報告については、必要としない。
- ・ 蕨岡拠点については、改修計画を予定しているスノーブレン室に使用する備品の購入費用として、寄附金から一部（約 76 万円）をイベントとは別に今年度使用させて頂く。

【拠点別寄附金分配内訳】

入所者人数 (H27/11/30 時点)	全体	拠点別内訳		
		古津賀	岩田	蕨岡
	129 名	36 名	46 名	47 名
寄附金分配金額	6,187,556 円	1,726,760 円	2,206,415 円	2,254,381 円

## (2) 人事管理

### ① 準職員・臨時職員の正職員採用試験の実施

#### ・試験日程

2月13日(日)	一次試験	試験科目：筆記試験、作文試験
2月21日(月)	一次試験合格者選考会	役員会にて選考
2月22日(火)	一次試験合格者発表	
2月26日(土)	最終試験	試験科目：適性検査①・②・③ 個別面接
3月3日(木)	最終試験合格者選考会	役員会にて選考
3月4日(金)	最終試験合格者発表	

#### ・合否結果

受験者数	7名
合格者	5名

### ⑥ ストレスチェックの実施

実施日：令和4年3月15日～30日

対象者：入社1年以上の職員

## (3) 法人の情報発信

### ① ホームページへの最新情報更新作業およびECサイトの創設

## 3. 工事関係

なし

## 4. 人事異動

実施日	内 容
4月1日	第1回 人事異動
5月1日	第2回 人事異動
7月1日	第3回 人事異動
8月1日	第4回 人事異動
10月1日	第5回 人事異動

## 5. 会議等

開催日	内 容
4月 5日	第 1 回 役員会
5月 10日	第 2 回 役員会
5月 20日	第 3 回 役員会
5月 27日	決算監査
5月 31日	第 4 回 役員会
6月 10日	第 1 回 理事会
6月 24日	定時評議員会
	第 2 回 理事会
7月 5日	第 5 回 役員会
8月 6日	第 6 回 役員会
9月 6日	第 7 回 役員会
9月 17日	副管理者候補者面接
10月 4日	第 8 回 役員会
10月 27日	給食業務委託についての協議
11月 1日	第 9 回 役員会
11月 2日	第 1 回 ワーキング会議
11月 29日	四万十市障害者福祉関係事業所連絡協議会
	給食業務委託についての協議
12月 2日	法人指導監査
12月 8日	第 10 回 役員会
12月 15日	第 3 回 理事会
12月 23日	第 1 回 臨時評議員会
1月 7日	第 11 回 役員会
2月 2日	新型コロナウイルス対応会議
2月 7日	新型コロナウイルス対応会議
2月 13日	令和 3 年度 正職員昇格試験（一次）
2月 21日	第 12 回 役員会
2月 26日	令和 3 年度 正職員昇格試験（最終）
3月 3日	第 13 回 役員会
3月 15日	第 4 回 理事会
3月 31日	第 2 回 臨時評議員会 書面決議

## 6. 採用、退職

事業所名	雇用形態	4/1	3/31	増減
法人本部	正職員	1	1	0
	再雇用職員	1	0	-1
児童部	正職員	8	9	1
	臨時職員	3	3	0
	パート職員	5	5	0
放デイ	正職員	2	2	0
	準職員	0	1	1
	臨時職員	1	0	-1
	パート職員	2	3	1
	再雇用職員	1	1	0
相談支援	正職員	1	1	0
レジデンス	正職員	6	6	0
	準職員	1	3	2
	臨時職員	6	6	0
	パート職員	2	2	0
蕨岡成人部	正職員	27	26	-1
	臨時職員	4	7	3
	パート職員	11	10	-1
	再雇用職員	7	7	0
四万十工房	正職員	3	3	0
	臨時職員	1	3	2
	パート職員	1	0	-1
	再雇用職員	3	3	0
ごり工房	正職員	3	4	1
	準職員	0	2	2
	臨時職員	2	1	-1
	パート職員	3	3	0
ぼっちり村	正職員	2	2	0
	臨時職員	0	1	1
	世話人	10	11	1
	パート職員	5	7	2
合計		122	133	11

法人全体	雇用形態	4/1	3/31	増減
	正職員	53	54	1
	準職員	1	6	5
	臨時職員	17	21	4
	世話人	10	11	1
	パート職員	29	30	1
	再雇用職員	12	11	-1
	合計	122	133	11

## 7. 研修会及び活動等

開催日	内容
12月27日	高知市内専門学校への訪問
通年	土岐神社管理

## 8. 今後の課題

今後の課題として、古津賀拠点については、指定児童発達支援事業と指定保育所等訪問支援事業の再開について、市町村や関係機関等との協議を行いながら取り組んでいく。

蕨岡拠点については、障害者支援施設わかふじ寮の定員を43名から40名へ定員変更をし、経営の安定化に取り組んでいく。

岩田拠点については、就労継続支援A型事業所の経営は厳しい状況にあり、定員割れの解消を始め、販路の拡大、経営の安定が課題となっており、改善に取り組んでいく。

最後に法人全体として、将来の法人を担うべく人材の教育や確保を進めていく必要があると考え、大学、専門学校等を卒業する専門知識を持った人材の他、高校生などの育成も視野に入れた人材確保をしていく必要があると考えます。

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：福祉型障害児入所施設 わかふじ寮

事業種名：福祉型障害児入所施設

短期入所事業

日中一時事業



# 令和3年度 障害児入所施設わかふじ寮 事業報告書

## 1. 事業の内容

- ・第1種社会福祉事業 福祉型障害児入所施設

以下、平成29年8月から中止

- ・第2種社会福祉事業 短期入所事業  
地域生活支援事業  
日中一時支援事業（市町村委託事業）
- ・その他の事業 障害児等療育支援事業（高知県委託事業）

## 2. 購入・工事関係

なし

## 3. 委託契約

実施日	内容
令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	古津賀拠点給食業務委託

## 4. 事業運営の総括

障害者支援施設の併設施設（定員10名）に転換し、1年4か月が経過しました。措置児童の保護単価の減額、職員定数の変更など、経営に大きく影響する事柄に対応しながら、おおむね経営の見通しを把握することができました。将来的にも定員10名の併設施設として運営するならば、事業所単体としての赤字は避けられず、主体施設からの補填ありきの経営になります。経営の側面で考えると非効率な事業かもしれませんが、県内に3か所（幡多地区では1か所）の障害児入所施設です。より質の高い療育を提供できる施設を目指し、必要性を認めてもらえるよう努めなければいけないと、痛烈に危機感を抱いた1年でした。

児童福祉法の改正によって、全ての入所児童（15歳以上）の移行支援が開始されました。移行支援の責任主体は都道府県と明確にされたため、移行支援が強化され、これまでのように高等部卒業後の進路が決定しないという事例はなくなるのではないかと期待しているところです。一方で、高等部卒業を待たずに障害者支援施設等に入所するケースが発生しており、想定していない時期の退所が課題となりそうです。定員数が少ないため、空床1が大きく経営に影響します。これまで以上に入退所の見通しを持ち、子どもを丁寧に迎え入れ、丁寧に送り出すための取り組みが求められます。

令和3年度は、12月に1名（5歳男児・注意欠陥多動性障害）1月に1名（15歳男児・自閉症）の入所、3月に1名（18歳男児・知的障害）の退所がありました。入所に際しては、短期入所や一時保護で試し期間を設け、受け入れが可能かどうか、全職員で協議し判断しました。退所に際しては、保護者や関係機関と連携し、4月から1年後の卒業を目指して、計画的に支援を行いました。ケース会等の時間の確保に苦慮しましたが、統一した支援に向かって前進できたと感じています。次年度以降も、チーム支援力が向上するように取り組んでいきます。

平成 29 年 8 月から休止している日中一時支援事業と短期入所事業については、慢性的な人員不足に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、再開の目途がたちませんでした。次年度以降の課題とします。

## 5. 利用者の状況

### (1) 定員と現員（令和 4 年 3 月 31 日）

定員	現員	利用の形態
10 名	10 名	契約 0 名
		措置 10 名

### (2) 通学の状況（令和 4 年 3 月 31 日）

学校名		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
中村特別支援学校	小学部	0	0	1	0	0	1	2
	中学部	0	1	2				3
	高等部	0	3	1				4

### (3) 障害者手帳

	A1	A2	B1	B2
療育手帳	4	2	2	1

	1 級	2 級	3 級	4 級
身障手帳	1	1	0	0

視覚障害（全盲）1 名・肢体不自由 1 名

### (4) 利用実績 ※（ ）内は昨年度の数值

	延べ人数	延べ日数	利用率
措置児童	103 名 (108 名)	3129 日 (3393 日)	
契約児童	0 名 (0 名)	0 日 (0 日)	0% (0%)
日中一時支援事業	0 名 (0 名)	0 日 (0 日)	0% (0%)
短期入所支援事業	3 名 (0 名)	38 日 (0 日)	3% (0%)

## 6. 療育の状況

### (1) 1日の過ごし方

#### 【一日のスケジュール】

##### 学校登校日

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
起床	朝食	身支度	学校生活 8:30 登校送り 14:30~15:51 下校お迎え							おやつ	入浴	余暇	夕食	身支度	余暇		就寝

##### 学校休業日

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	起床	朝食	身支度	園内活動 宿題 訓練など	昼食	園外活動 ドライブ 散歩など	おやつ	入浴	余暇	夕食	身支度	余暇				就寝

### (2) 年間行事

実施日	場所	内容
毎月	わかふじ寮食堂	お誕生日会
4月29日	佐賀公園	遠足
8月6日	わかふじ寮食堂・避難棟	夏祭り～縁日とお化け屋敷
8月25日	佐賀公園	ドライブ&テイクアウト (ジョイフル)
8月25日	わかふじ寮 前庭	花火大会
9月23日	わかふじ寮 避難棟	美術ワークショップ～五色幔幕にペイント
10月17日	四国霊場37番札所岩本寺	10/11～作品展 9/23 制作作品展示
10月27日	わかふじ寮内	ハロウィンイベント
10月4日	足摺水族館	遠足
10月9日	わかふじ寮食堂・土岐神社	マグロ解体ショー・お菓子投げ ご協力：中田水産様、ココレアダイニング様
11月6日	宿毛市総合運動公園	幡多地区チャレンジ陸上記録
11月13日	森田農園 (四万十市竹島)	みかん狩り
11月23日	四万十緑林公園 (四万十町)	ドライブ&テイクアウト (ほか弁)
12月24日	わかふじ寮内	クリスマス会
12月28日	わかふじ寮 前庭	餅つき大会
2月2日	わかふじ寮内	節分豆まき
3月22日	わかふじ寮内	卒業を祝う会
3月23日	佐賀公園	ドライブ&テイクアウト (マクドナルド)

## (3) 健康管理

	項目	内容
定期健康診断	身体計測	身長（年2回）体重（毎月）
	血圧測定	主治医の指示で実施
	尿検査	1回目 5月14日 2回目 10月12日
	聴力検査	5月 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
	視力検査	5月 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
	血液検査	年1回 ※医師の判断で省略あり
	内科検診	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します 2回目 12月頃
	精神科検診	3月28日
	歯科検診	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
定期受診	原則、看護師が行います。服薬の管理もします。	
インフルエンザ対策	インフルエンザワクチン接種（11月17日）	
感染性胃腸炎対策	感染予防職場研修→感染対策のため集合型研修を控えていたこともあり実施できていません 感染予防外部研修へ派遣（感染対策委員）	
その他の感染症	新型コロナウイルス感染症対策としてBCP改善、換気の徹底、不織布マスク着用、手洗いうがいの励行、ガウンテクニックを職員全員へ指導等実施。ご家族から希望があった利用者は新型コロナウイルスワクチン2回実施。	

## (4) 受診の状況 ※（ ）内は昨年度の数値

	小児科	内科	精神科	外科	整形外	その他	歯科	合計
受診回数	50回 (41回)	31回 (5回)	12回 (12回)	6回 (1回)	8回 (3回)	3回 (10回)	23回 (21回)	93回 (93回)

## (5) 入院の状況

0件

## 7. 事故及びヒヤリハット ※（ ）内は昨年度の数値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (5)
事故報告	1 (2)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (11)

行政報告…令和4年2月22日 誤薬

## 8. 苦情等

苦情受付・・・1件

受付日	令和3年9月28日
事業所	障害者支援施設レジデンスわかふじ 障害児入所施設わかふじ寮
内容	近隣住民からの申し出。 わかふじ寮の利用者が夜中に迷惑行為（風呂を覗く、雨戸を叩く、テレビの線を隠すなど）を繰り返すので、やめてほしい。
対応	見守りカメラの録画確認やセキュリティの解除記録の確認、夜間の巡回強化などを行うが、該当する利用者や疑わしい事例も確認できなかった。申し出があるたびに説明を繰り返す。夜中に申出人から「今わかふじの子が来ている」と電話があったが、入所者全員が就寝中であった。令和4年1月以降は申し出なし。

## 9. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数） ※（ ）内は昨年度の数値

職種	正職員	再雇用	準職員	臨時	パート	合計	基準配置
管理者（兼務）	1名 (1名)					1名 (1名)	1名※1
児童発達支援管理責任者	1名 (兼)						1名 ※2
保育士	2名 (2名)				2名 (2名)	4名 (4名)	3.5名 ※3
児童指導員	2名 (2名)			1名 (1名)		3名 (3名)	
指導員	2名 (1名)			2名 (0名)		4名 (1名)	
看護職員（兼任）	1名 (1名)					1名 (1名)	0名※5
栄養士（兼任）	1名 (兼)						0名 ※5
事務員等（兼任）	1名 (1名)				3名 (3名)	4名 (4名) ※5	0名※5
合計	9名 (8名)	0名 (0名)	0名 (0名)	3名 (1名)	5名 (5名)	17名 (14名)	

※1 管理業務に支障がない場合は兼務可

※2 障害者支援施設が主体の場合、障害者支援施設のサービス管理責任者が兼務できる

※3 障害児の数4で除した数。定員30人以下の場合、当該数字に1を加えた数。

※4 定員40名以下の場合には置かないことができる

※5 看護職員および栄養士、事務職員等は本体施設と兼務できる

※6 事務職員等には障害者雇用のハウスキーパー2名を含む

## 10. 人材育成研修

### (1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
7月	救急救命講習 全員受講
9月～3月	Special Learning 動画視聴による通信教育プログラム 各事業所から2名受講

### (2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
4月16日	高知市	高知県福祉・介護職合同入職式	2名
11月・1月	WEB	強度行動障害者支援従事者基礎研修	2名
11月11日	WEB	高知県知的障害者福祉協会 第1回職員研修	2名
12月6日	高知市	社会福祉法人公益的な取組推進フォーラム	1名

## 11. 避難訓練及び防災教育

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月24日	火災		○		○
5月29日	火災		○		○
6月19日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
7月29日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
8月27日	火災・地震		○		○
9月25日	地震（シェイクアウト訓練）				○
9月23日	火災		○		○
10月23日	火災・地震		○		○
11月27日	火災	○			
12月25日	火災		○		○
1月29日	火災		○		○
2月25日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
2月26日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：放課後等デイサービス事業所 わかふじ

事業種名：放課後等デイサービス事業



# 令和3年度 放課後等デイサービス事業所わかふじ 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 事業の内容

- ・第2種社会福祉事業 放課後等デイサービス事業

以下、平成31年4月から休止

- ・第2種社会福祉事業 児童発達支援事業  
保育所等訪問支援事業

## 2. 購入・工事関係

なし

## 3. 事業運営の総括

平成31年4月から児童発達支援事業及び保育所等訪問支援事業は休止し、現在は放課後等デイサービス事業のみの運営です。放課後等デイサービス事業の1日の定員は10名で、1か月を平均して13名(利用率130%)まで利用が可能です。令和3年度の平均利用率は90%でした。新型コロナウイルス感染症の影響による学校休業等があり、前年度と比較して利用率は低下しました。ここ数年、契約児童数および一人当たりの利用日数も減少傾向です。質の高い療育の提供を目指すとともに、事業所の特色や取り組みを積極的に発信する必要性を感じました。

平成31年4月から休止している児童発達支援事業及び保育所等訪問支援事業の再開について、事業所内で協議を重ねました。併設の障害児入所施設に措置入所した児童(5歳男児・注意欠陥多動性障害)を対象に、平日9時～11時に療育を行い、事業再開の想定も行いました。人員の数や自分たちの持つ力量でどこまでのことができそうか、自己評価し、次年度の目標を定めることができました。

令和4年2月に実施した保護者アンケートでは、環境・体制整備の項目、適切な支援の提供の項目では、肯定的な意見が多かったものの、保護者等への説明の項目では否定的な意見がありました。保護者同士の連携の支援や苦情の対応・公表について、課題があります。次年度以降、改善に向けて取り組みます。

#### 4. 利用者の状況

(1) 定員と現員（令和4年3月31日） ※（ ）内は昨年度の数値

	定員	契約人数
児童発達支援センター 保育所訪問支援事業	休止	0名
放課後等デイサービス	10名	22名 (26名)

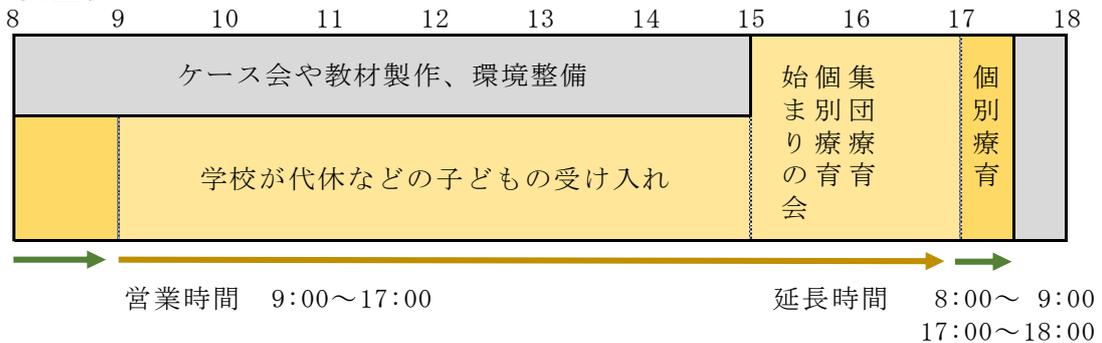
(2) 利用実績 ※（ ）内は昨年度の数値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約人数	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	23 (26)	22 (26)	22 (26)
利用人数	22 (22)	22 (20)	20 (22)	22 (23)	20 (22)	21 (23)	21 (22)	21 (23)	20 (23)	20 (23)	19 (22)	20 (22)
利用件数	232 (200)	220 (202)	247 (284)	235 (279)	210 (214)	225 (251)	245 (264)	242 (230)	236 (243)	204 (214)	207 (215)	233 (240)
開所日数	26 (26)	26 (26)	26 (26)	27 (27)	22 (21)	25 (26)	26 (27)	26 (25)	24 (24)	24 (26)	24 (24)	27 (27)
利用率	89% (88%)	84% (88%)	95% (88%)	87% (97%)	95% (105%)	90% (101%)	94% (99%)	93% (96%)	98% (97%)	85% (92%)	86% (91%)	86% (87%)

#### 5. 療育の状況

(1) 1日の過ごし方

学校登校日



学校休業日



## (2) 年間行事

実施日	場所	内容
毎月	事業所内	誕生日会 調理実習やゲーム等
7月7日	事業所内	七夕イベント
8月6日	わかふじ寮食堂・避難棟	夏祭り～縁日とお化け屋敷
9月23日	わかふじ寮 避難棟	美術ワークショップ～五色幔幕にペイント
10月9日	わかふじ寮食堂・土岐神社	マグロ解体ショー・お菓子投げ ご協力：中田水産様、ココレアダイニング様
10月17日	四国霊場37番札所岩本寺	10/11～作品展 9/23制作作品展示
10月27日	わかふじ寮内	ハロウィンイベント
12月24日	わかふじ寮内	クリスマス会
12月28日	わかふじ寮 前庭	餅つき大会
1月6日	事業所内	リサイクル活動
1月16日	事業所内	高校3年生卒業記念作品づくり
2月3日	わかふじ寮内	節分豆まき

## 6. 事故及びヒヤリハット ※（ ）内は昨年度の数値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								
事故報告	0 (0)												

## 7. 苦情等

苦情受付・・・0件

## 8. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数） ※（ ）内は昨年度の数値

職種	正職員	再雇用	準職員	臨時	パート	合計	基準配置
管理者（兼務）	1名 （兼）						1名 ※1
児童発達支援管理責任者	1名 （1名）					1名 （1名）	1名 ※2
保育士		1名 （1名）		1名 （0名）	0名 （1名）	2名 （2名）	2名以上 ※2
児童指導員	1名 （1名）		1名 （0名）	0名 （1名）	1名 （0名）	3名 （2名）	
機能訓練士					1名 （1名）	1名 （1名）	
合計	2名 （2名）	1名 （1名）	1名 （0名）	1名 （1名）	2名 （2名）	7名 （6名）	

※1 管理業務に支障がない場合は兼務可

※2 常勤専従

※3 障害児の数が10名までは2名以上。10名を超えて5又はその端数を増すごとに1を加えた数。理学療法士は機能訓練担当者として合計数に含めることができる。

## 9. 人材育成研修

(1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
7月	救急救命講習 全員受講
9月～3月	Special Learning 動画視聴による通信教育プログラム 各事業所から2名受講

(2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
11月・1月	WEB	強度行動障害者支援従事者基礎研修	1名

10. 避難訓練及び防災教育 ※併設の入所施設と合同で実施

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月24日	火災		○		○
5月29日	火災		○		○
6月19日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
7月29日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
8月27日	火災・地震		○		○
9月25日	地震（シェイクアウト訓練）				○
9月23日	火災		○		○
10月23日	火災・地震		○		○
11月27日	火災	○			
12月25日	火災		○		○
1月29日	火災		○		○
2月25日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
2月26日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○



令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：相談支援事業所 わかふじ

事業種名：指定特定相談支援事業  
指定障害児相談支援事業



## 令和3年度 相談支援事業所わかふじ 事業報告書

### 1. 事業の内容

・第2種社会福祉事業 特定相談支援事業

### 2. 購入・工事関係

なし

### 3. 事業運営の総括

利用者やその家族からの相談に応じ、利用者がその心身の状況に応じた日常生活を営むことができるよう、情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行うとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な相談支援の提供を行いました。

### 4. 利用者・児の状況

(1) 幡多地域6市町村 ※（ ）内は昨年度の数値

	四万十市	宿毛市	土佐清水市	黒潮町	大月町	三原村	合計
障害者	41名 (41名)	15名 (17名)	15名 (14名)	5名 (6名)	6名 (6名)	2名 (1名)	84名 (85名)
障害児	8名 (9名)	0名 (0名)	0名 (1名)	0名 (0名)	0名 (0名)	1名 (2名)	9名 (12名)
合計	49名 (50名)	15名 (17名)	15名 (15名)	5名 (6名)	6名 (6名)	3名 (3名)	93名 (97名)

(2) 幡多地域以外 ※（ ）内は昨年度の数値

	四万十町	須崎市	高知市	香南市	香美市	南国市	その他	合計
障害者	11名 (11名)	5名 (5名)	13名 (14名)	2名 (2名)	3名 (3名)	2名 (2名)	6名 (5名)	43名 (43名)
障害児	1名 (1名)	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)	1名 (1名)
合計	12名 (12名)	5名 (5名)	13名 (14名)	2名 (2名)	3名 (3名)	2名 (2名)	6名 (5名)	43名 (43名)

(3) 利用実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日） ※（ ）内は昨年度の数値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	12 (1)	9 (3)	3 (5)	7 (2)	8 (4)	2 (4)	10 (6)	7 (6)	3 (8)	3 (7)	7 (7)	4 (10)	75 (63)
モニタリング	17 (29)	15 (19)	20 (17)	17 (18)	23 (13)	28 (21)	13 (25)	21 (12)	21 (15)	15 (12)	22 (12)	23 (8)	225 (201)
合計	29 (30)	24 (22)	23 (22)	24 (20)	31 (17)	30 (25)	23 (31)	28 (18)	24 (23)	18 (19)	29 (19)	27 (18)	300 (264)

## 5. 苦情等

苦情件数・・・0件

## 6. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数） ※（ ）内は昨年度の数值

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
相談支援専門員	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合 計	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：障害者支援施設 レジデンスわかふじ

事業種名：障害者支援施設



# 令和3年度 障害者支援施設レジデンスわかふじ 事業報告書

## 1. 事業の内容

- ・第1種社会福祉事業 施設入所支援及び生活介護

## 2. 購入・工事関係

なし

## 3. 委託契約

実施日	内容
令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	古津賀拠点給食業務委託

## 4. 事業運営の総括

平成31年4月に開設（障害児入所施設の併設、定員12名）、令和2年12月に定員変更および主体施設に転換し、1年4か月が経過しました。現在、定員20名に対し、現員19名の利用者を受け入れています。転換から半年程度は、活動班の入れ替えや部屋替えを繰り返しましたが、現在ようやく落ち着いてきました。令和3年度は、日課の再構築や個々の支援の見直しを図ることができました。

経営の側面では、必要な人員の数や、算定できるサービス給付費も把握できました。併設の障害児入所施設は赤字ありきの経営となるので、その補填も含めて、主体施設としての役割を果たしたい考えです。安定的な経営のため、支援の質を向上し、不適切な支援等で経営が揺るぐことがないように、次年度以降取り組んでいきます。

令和4年3月現在、入所者19名中14名が、重度障害者支援加算対象者です。強度行動障害スコア表による判定では、0～9点が2名、10～19点が7名、20点以上が3名です。また、全員が療育手帳A判定で、支援が非常に難しいです。支援の難しさから、不適切な支援や怪我、器物損壊などの事故が起こりやすい環境で、実際に事故が多く発生しました。防ぎきれない事故も起こりうるので、どのような支援方針だったのか、具体的な対応はどうだったのか、支援の難しさについて家族や関係機関と共有できていたかなど、事故後にきちんと説明ができるように努めました。また、再発防止についてしっかり話し合えるよう努めました。

地域でニーズの高い日中一時支援事業と短期入所事業の実施については、検討の機会が持てませんでした。次年度以降の課題とします。

## 5. 利用者の状況

(1) 定員と現員（令和4年3月31日）

	定員	現員
施設入所支援	20名	19名
生活介護	20名	19名

## (2) 障害支援区分

区分	区分 4	区分 5	区分 6
人数	3 名	9 名	7 名

平均区分 5.2

## (3) 障害者手帳

	A1	A2	B1	B2
療育手帳	14	5	0	0

	1 級	2 級	3 級	4 級
身障手帳	2	2	0	0

## (4) 平均年齢

年齢	19 歳以下	20～25 歳	25～30 歳	30 歳以上
人数	0 名	6 名	3 名	10 名

平均年齢 29.5 歳

## (5) 利用実績 ※ ( ) 内は昨年度の数値

	延べ人数	延べ日数	利用率
施設入所支援	233 名 (156 名)	6803 日 (4617 日)	93.2% (74.4～60.7%)
生活介護	233 名 (162 名)	5021 日 (3349 名)	93.3% 99.8%～80.7%

## 6. 支援の状況

## (1) 1 日の過ごし方

## 【一日のスケジュール】

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	起床	朝食	身支度	日中活動 ドライブ 散歩など		昼食	余暇	日中活動 ドライブ 散歩など		入浴	余暇	夕食	身支度	余暇		就寝

## (2) 年間行事 ※ ( ) 内は昨年度の数値

実施日	場所	内容
毎月	わかふじ寮食堂	お誕生日会
8 月 6 日	わかふじ寮食堂・避難棟	夏祭り～縁日とお化け屋敷
9 月 23 日	わかふじ寮 避難棟	美術ワークショップ～五色幔幕にペイント
10 月 9 日	わかふじ寮食堂・土岐神社	マグロ解体ショー・お菓子投げ ご協力: 中田水産様、ココレアダイニング様
10 月 17 日	四国霊場 37 番札所岩本寺	10/11～作品展 9/23 制作作品展示
10 月 27 日	わかふじ寮内	ハロウィンイベント
11 月 6 日	宿毛市総合運動公園	幡多地区チャレンジ陸上記録
12 月 24 日	わかふじ寮内	クリスマス会
12 月 28 日	わかふじ寮 前庭	餅つき大会
2 月 2 日	わかふじ寮内	節分豆まき
3 月 22 日	わかふじ寮内	卒業を祝う会

## (3) 健康管理

	項目	内容
定期健康診断	身体計測	身長（年2回）体重（月1回）腹囲（年2回）
	血圧測定	40歳未満（月1回）40歳以上（月2回）
	尿検査	1回目 5月14日 2回目 10月12日
	血液検査	治療中の疾患がある方は主治医の指示で実施。 治療中の疾患がない方は協力医療機関で実施。
	胸部レントゲン	11月12日
	心電図検査	40歳以上 ※医師の指示による
	内科検診及び	治療中の疾患がある方は主治医の指示で実施。
	精神科検診	3月28日
	歯科検診	年1回（通年）
	定期受診	原則、看護師が行います。服薬の管理もします。
	インフルエンザ対策	インフルエンザワクチン接種（11月17日）
	感染性胃腸炎対策	感染予防職場研修→感染対策のため集合型研修を控えていたこともあり実施できていません 感染予防外部研修へ派遣（感染対策委員）
	その他の感染症	新型コロナウイルス感染症対策としてBCP改善、換気の徹底、不織布マスク着用、手洗いうがいの励行、ガウンテクニックを職員全員へ指導等実施。ご家族から希望があった利用者は新型コロナワクチン2回実施。

## (4) 受診の状況 ※（）内は昨年度の数値

	小児科	内科	精神科	外科	整形外	その他	歯科	合計
受診回数	10回 (8回)	100回 (16回)	115回 (80回)	4回 (20回)	0回 (0回)	1回 (5回)	36回 (18回)	266回 (147回)

## (5) 入院の状況

5件

## 7. 事故及びヒヤリハット ※（）内は昨年度の数値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	2 (3)	0 (0)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (3)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	9 (9)
事故報告	0 (3)	2 (2)	0 (1)	1 (3)	0 (10)	2 (3)	2 (3)	1 (0)	1 (3)	0 (4)	2 (6)	1 (1)	12 (39)

行政報告…5月22日 転倒による急性硬膜下血種

10月1日 誤薬

2月22日 誤薬

## 8. 苦情等

苦情受付・・・2件

受付日	令和3年9月28日
事業所	障害者支援施設レジデンスわかふじ 障害児入所施設わかふじ寮
内容	近隣住民からの申し出。 わかふじ寮の利用者が夜中に迷惑行為（風呂を覗く、雨戸を叩く、テレビの線を隠すなど）を繰り返すので、やめてほしい。
対応	見守りカメラの録画確認やセキュリティの解除記録の確認、夜間の巡回強化などを行うが、該当する利用者や疑わしい事例も確認できなかった。申し出があるたびに説明を繰り返す。夜中に申出人から「今わかふじの子が来ている」と電話があったが、入所者全員が就寝中であった。令和4年1月以降は申し出なし。

受付日	令和4年1月日
事業所	障害者支援施設レジデンスわかふじ
内容	入所者の家族（父）より申し出。 過去の施設長にも幾度となく減薬を希望してきたが聞き入れてもらえない。過剰な服薬は虐待ではないか？
対応	主治医と相談しながら、症状に応じてお薬の調整がなされてきた。家族には連絡を入れていたが、十分な理解は得られていなかった。申し出があった直後から、市町村に介入してもらって解決を目指している。

## 9. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数） ※（ ）内は昨年度の数値

職種	正職員	再雇用	準職員	臨時	パート	合計	基準配置
管理者（兼務）	1名(兼)						1名 ※1
サービス管理責任者	1名 (1名)					1名 (1名)	1名
生活支援員	4名 (4名)		3名 (1名)	5名 (6名)	1名 (1名)	13名 (12名)	7名 ※2
看護職員（兼任）	1名(兼)						1名 ※3
栄養士(兼任)	1名 (1名)					1名 (1名)	0名
事務員等（兼任）				1名 (1名)	1名 (1名)	2名 ※4 (2名)	0名
合 計	6名 (6名)	0名	3名 (1名)	6名 (7名)	2名 (2名)	17名 (16名)	

※1 管理業務に支障がない場合は兼務可

※2 平均障害支援区分5以上の場合、利用者の数を3で除した数。人員配置体制加算(1)を算定する場合、直接処遇職員配置は1.7:1以上必要となる。

※3 生活介護の単位ごとに1名以上

※4 事務職員等には障害者雇用のハウスキーパー1名を含む

## 10. 人材育成研修

(1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
7月	救急救命講習 全員受講
9月～3月	Special Learning 動画視聴による通信教育プログラム 各事業所から2名受講

(2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
8月31日	黒潮町	安全運転管理者講習	1名
11月11日	WEB	高知県知的障害者福祉協会 第1回職員研修	1名

1.1. 避難訓練及び防災教育

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月24日	火災		○		○
5月29日	火災		○		○
6月19日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
7月29日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
8月27日	火災・地震		○		○
9月25日	地震（シェイクアウト訓練）				○
9月23日	火災		○		○
10月23日	火災・地震		○		○
11月27日	火災	○			
12月25日	火災		○		○
1月29日	火災		○		○
2月25日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
2月26日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：障害者支援施設 わかふじ寮

事業種名：施設入所支援及び生活介護

短期入所事業

日中一時支援事業（市町村委託事業）



# 令和3年度 障害者支援施設わかふじ寮 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 利用者への適切な支援に向けて

- ① 月3回(2時間×3回)のケース検討会にて、男女混合での日中活動実施に向けた活動内容や班編成の見直しを行い、期限を決めてPDCAサイクルを実践することができた。
- ② 一部の利用者についてのケース検討会であったため、緊急なケースを優先するとともに、検討する内容を担当支援員が作成し利用者全員の検討会とした。
- ③ 障害の特性を理解したうえで有効な支援方法について具体的に示し、支援の用具を作成し活用している。  
例：自閉症→視覚支援、見通し  
(スケジュールボード、カレンダー、写真、絵、タイマー等)
- ④ 個別の支援計画の作成、モニタリングについては、「例年通り」ではなく、まずは保護者の聞き取りを丁寧に行い、担当者とサビ管の協議の時間を設定(担当者は事前に文書作成)することとした。

### (2) 家族との信頼関係づくり

- ① 施設での取組や利用者の活動、生活の様子を3ヵ月毎のお便り「輪の和」でお知らせすることとした。毎月の葉書でのお便りは、これまでも担当者から送付している。
- ② 職員が判断の難しい家族からの相談については、管理者から丁寧に話(面談、電話)をさせていただき、傾聴、家族の気持ちに寄り添う姿勢を感じていただけるように配慮してきた。
- ③ 玄関の出入り口周辺(内外)に花やベンチ椅子、テーブルを置き、家庭的な明るい雰囲気にした。利用者が日々の活動で休憩や花見ができるように、毎朝ハウスキーパーがベンチ椅子、テーブルを掃除している。

### (3) 管理者・副管理者と職員との信頼関係づくり

- ① 個別面談を実施した(全職員2回-5・6月、3月)  
面談内容・利用者さんや家族の方との関りで大切にしていること
  - ・チームでの報告、連絡、相談はできていると思うか。  
チームワーク 統一した支援
  - ・人間関係について
  - ・課題について(全体、各部署)
  - ・セルフチェック、自己評価表の確認
- ② 職員会議での密な報告  
役員会の報告→各拠点や法人からの情報発信を報告  
運営会の報告→運営会(月2回)でサビ管、副主任と検討、協議した内容を報告→協議→決定  
※職員会が決定の場であることの認識を深めてきた。
- ③ いつでも相談に応じられる雰囲気づくり
  - ・オープンな施設長室(出入り口の開放)
  - ・適切なアドバイスができるように活動や生活支援に入り利用者の実態を把握し、利用者の課題等、具体的な支援について共に考えてきた。
  - ・日々、管理者、副管理者、それぞれの役職に合わせた相談があり、安心、納得、解決につながったと感じている。

#### (4) 職員の育成

##### ① 研修

- ・役割、担当、各種委員等に係る研修への参加
- ・研修後の報告（伝達講習）
- ・出向報告
- ・OJTによる研修－職員の得意とする内容の講話等

##### ② 新人職員のオリエンテーションの実施

内容：施設内見学→服務規程→業務の流れ、勤務時間、ローテーション等→利用者の特性とビデオ視聴→虐待防止委員会より→事務連絡・手続き

##### ③ 計画的なケース検討会の実施

利用者全員について、月3回（2時間×3回）のケース検討会で検討、協議し統一したよりよい支援を目指してきた。利用者の担当生活支援員が参加するためには、検討する利用者を早期に計画し勤務上の配慮を行った。

## 2. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

実施月	内容	金額
8月	ドライブレコーダー 使用頻度の高い公用車3台に設置	99,900円
10月	防犯カメラレコーダー 既存のレコーダーとの入替 リース契約（月額42,900円・72ヶ月）	3,088,800円
2月	スノーズレン用備品一式 スノーズレン室で使用する器具、クッション等 旧保護者会寄附金を原資として購入	総額 850,000円 うち寄附金 755,000円 自己資金 95,000円
3月	支援記録システム用 iPad（10台） 支援の記録、情報共有の効率化を図るため導入 高知県介護福祉機器等導入支援事業費補助金の活用	総額 1,228,502円 うち補助金 1,000,000円 自己資金 228,502円

### (2) 工事関係

実施月	内容	金額
5月	農業用水配管引替工事 市の簡易水道への切替に伴い、これまで使用していた地下水を近隣農地へ提供する配管工事を行った。	1,641,750円
11月	施設敷地入口スロープU字溝設置工事 スロープ脇にある放流ポンプから流量が増える際、スロープに水が漏れてしまうことがあるため、スロープを横断するように溝を設け、解消を図った。	411,950円
2月	スノーズレン室改修設置 改修棟1階防災拠点スペースの一部に施工 個人からの寄附金収入を原資として設置	総額 2,333,900円 うち寄附金 1,793,000円 自己資金 540,900円
3月	法面崩落復旧工事 大雨により崩落した施設北側斜面の復旧工事。 四万十市の令和3年度がけくずれ住家防災対策工事として、復旧工事（施設負担割合は工事費の25%）を開始、複数年度継続事業となり、現在工事未完了。	総額 1,661,400円 施設負担分 1,575,000円 土地借上料 86,400円

### 3. 利用者支援

#### (1) 支援部門

##### 【一日のスケジュール】

	月曜～金曜		土曜・日曜・祝日
6:30	起床・モーニングケア		起床・モーニングケア
7:30	朝食		朝食
9:30～ 11:30	各居住区で体操、朝礼後、3つのグループに分かれ、寮周辺散歩に取り組む。	農耕作業（近隣の畑） 散歩後：・ワークシステム ・歩行訓練・リハビリ・スノーズレン・創作活動・音楽鑑賞など (理学療法士 火・木・土)	布団干し、養鶏作業、居室清掃、余暇活動 個人的な活動 (買物やヘアカット)
11:30～	昼食		昼食
13:30～ 15:30	曜日別に活動に取り組む。	カラオケ、スノーズレン ミュージックケア ドライブ	余暇活動 個人的な活動 (買物・ヘアカット)
	個人的な活動	買物・ヘアカット	
15:30～	入浴		入浴
18:00～	夕食		夕食
19:00～	余暇時間・イブニングケア		余暇時間・イブニングケア
22:00	就寝		就寝

※令和3年12月から男女合同活動を開始し、施設周辺への歩行訓練やバスでの野外活動、施設内ではミュージックケアなどを合同で取り組んでいる。

#### (2) 栄養部門

- ① 年に一度嗜好調査を行い、人気のあるメニューを取り入れ、季節の野菜を使用した行事食の提供を行う事ができた。
- ② 野菜は歯ごたえが残るように調理し、咀嚼機能低下を防ぐよう気をつけた。
- ③ 生活習慣病予防のため、管理栄養士、調理員、看護師、生活支援員が連携して健康管理に努めてきた。特に適正体重の維持のため、食の楽しみを損なうことがないダイエットメニューを取り入れると共に揚げ物(フライや天ぷら等)はフライパンで焼いて、脂質の過摂取を控えるよう対応した。

#### (3) 看護部門

- ① 支援員からの報告や利用者の話に耳を傾け、必要時通院し、健康を回復する看護に努めた。
- ② 新型コロナウイルス感染者が増加していることもあり、リハビリを必要とする利用者の受診が難しいことが多かった。その際は理学療法士が施設内にて実施した。

【定期健康診断】（年2回）

項目		内容
定期健康診断	身体計測	身長（年2回） 体重（月1回）
	血圧測定	40歳未満（月1回） 40歳以上（月2回）
	尿検査	年2回（5月・9月）
	血液検査	治療中の疾患がある方は主治医の指示で実施。 治療中の疾患がない方は協力医療機関で実施。 医師の判断で省略あり ※検査日前に新型コロナウイルスに感染した2名が実施できていない。
	胸部レントゲン	年1回（11月）
	心電図検査	40歳以上※医師の指示による
各種がん検診		該当者は原則受診
歯科検診		年1回（通年） ※利用者全員は受診できず、症状のある利用者のみ受診した。

【感染症の予防対策】

項目	内容
感染症対策	インフルエンザワクチン接種（11月下旬） 新型コロナウイルス ワクチン接種（7月・8月）
感染性胃腸炎対策	感染予防職場研修（全職員対象：10月） 感染予防外部研修へ派遣（感染対策委員）
その他の感染症	感染症の動向を周知し、必要な予防策を実施する

※令和4年1月26日～2月18日の期間、新型コロナウイルスの施設内クラスターが発生し、男性利用者15名、女性利用者3名、職員4名、総数22名の感染が確認されたが重症化することなく収束した。

【受診の状況】

精神科	内科	リハビリ	消化器科	歯科	小児科	耳鼻科	合計 〔前年度〕
391	229	36	31	31	30	25	
外科	泌尿器科	皮膚科	循環器科	婦人科	整形外科		831
16	13	13	9	4	3		〔766〕

4. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

(1) 定員及び現員

		定員	現員（R4.3.31）
定 員	施設入所	43名	43名
	生活介護	40名	43名（契約者数）
	短期入所	3名+空床型	3名（契約者数）
構造上の居室数	新築棟	施設入所用	個室 29室 25名（男性）
		短期入所用	個室 1室
	改築棟	施設入所用	個室 20室 2人部屋 2室 18名（女性）
		短期入所用	2人部屋 1室 1名（女性）

## (2) 利用者平均年齢 40.8 歳 (男性 42.1 歳・女性 38.9 歳)

年齢	男性	女性	計
10代	0名	0名	0名
20代	3名	6名	9名 (21%)
30代	6名	5名	11名 (26%)
40代	12名	4名	16名 (37%)
50代	3名	2名	5名 (12%)
60代	1名	0名	1名 (2%)
70代	0名	1名	1名 (2%)
計	25名 (58%)	18名 (42%)	43名

## (3) 障害支援区分 平均 5.2 (男性 5.2・女性 5.1)

障害支援区分	男性	女性	計	割合〔前年度〕
区分4 (うち重度)	6名 (0名)	5名 (2名)	11名 (2名)	26%〔23.3%〕
区分5 (うち重度)	8名 (6名)	6名 (5名)	14名 (11名)	32%〔39.5%〕
区分6 (うち重度)	11名 (11名)	7名 (5名)	18名 (16名)	42%〔37.2%〕
計	25名 (17名)	18名 (12名)	43名 (29名)	100%〔100%〕

## (4) 障害者手帳

療育手帳	A1	A2	B1	B2	計
	21	18	2	1	42

精神障害者保健福祉手帳	4級
	1

身体障害者手帳	1級	2級	3級	4級	計
	3	2	0	2	7

## (5) 利用実績

	延べ人数 〔前年度〕	延べ日数 〔前年度〕	利用率 〔前年度〕
施設入所支援	512名 〔567名〕	15,239日 〔16,762日〕	97.1% 〔86.6%〕
生活介護	511名 〔546名〕	10,835日 〔11,919名〕	100.7% 〔83.6%〕
短期入所	28名 〔22名〕	542日 〔346日〕	49.5% 〔31.6%〕

## 5. 職員体制(配置基準)

職種	正職員	再雇用	準職員	臨時	パート	合計	配置基準
管理者	1名					1名	1名
副管理者	1名					1名	
サービス管理責任者	1名					1名	1名
理学療法士					1名 (0.3)	1名 (0.3)	
看護職員	1名					1名	人員基準 10.9名 1.7:1配置 19.3名
生活支援員	16名	7名		3名	4名 (2.4)	30名 (28.4)	
生活支援員 (夜勤専門)					2名 (1.9)	2名 (1.9)	
ハウスキーパー					3名 (2.6)	3名 (2.6)	
管理栄養士	1名					1名	1名
調理員	2名			3名	1名 (0.6)	6名 (5.6)	
事務員	1名			1名		2名	
合計	24名	7名	0名	7名	11名 (7.7)	49名 (45.8)	

## 6. 事故・ヒヤリハット ※ ( ) 内は昨年度の数值

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	4 (1)	4 (1)	4 (2)	8 (5)	8 (7)	9 (7)	10 (5)	3 (14)	8 (13)	6 (11)	1 (7)	7 (2)	72 (75)
事故報告	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	2 (4)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (4)	7 (14)

行政事故報告： 7月（利用者接触時の転倒による通院） 1件  
8月（居室内落葉発見） 1件  
10月（扉破壊時の怪我で通院） 1件

## 7. 苦情等

苦情受付 0件

## 8. 防災対策

### 【避難訓練及び防災教育】

種別	実施月	消火訓練	通報訓練	避難訓練	炊き出し	防災教育
総合訓練 (2回/年)	5月 11月	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
避難訓練 (3回/年)	8月 10月 2月			○ ○ ○		
炊き出し訓練 (1回/年)	2月			×	×	

- ・5月、地震からの火災発生を想定して総合避難訓練を行った。
- ・11月、崖崩れを想定した総合避難訓練を行った。
- ・2月の炊き出し訓練は施設内でコロナ感染（クラスター化）対応時であったため、実施できていない。
- ・福祉避難所開設及び運営訓練計画は、コロナ感染防止の観点から地域の方に呼びかけできず、職員間で地域担当者をつくり訓練を実施した。

## 9. 実施行事

	施設企画行事	外部参加行事
4月	遠足（お花見会）変更：テイクアウト	
5月		高知県障害者スポーツ大会ー中止
6月	蕨岡小学校との交流会（七夕飾り）	
7月	<b>BBQ※川遊びは中止し、施設内 BBQ</b>	
8月		蕨岡地区盆踊りー中止
9月		スピリットアート作品出展
10月		ピアふれあい21ー中止
11月	蕨岡小学校との交流会（芋ほり） 秋祭り（一条大祭の代替）	ゆうあいスポーツ四国大会ー中止
12月	クリスマス会	
1月	厄除け神事ー中止	
2月	節分豆まきー中止	

※毎月の誕生日会は、新型コロナウイルス感染予防の観点から各フロアで食事を摂る対策を取った。幡多地域の感染者が少ない時期には男女が交わり、全体での誕生日会を行った。

## 10. 研修・会議

- ・他法人との合同研修や、他法人から職場内研修及び困難事例ケース検討会などへの講師招聘を通じて施設間交流の機会を増やす計画であったが、コロナ感染防止の観点から減少した。WEBでの研修へは参加できた。
- ・副主任を中心にOJTを展開。先輩から後輩へ、「障害のある人の暮らしを支える」という仕事が伝承されるような職場づくりをすすめる計画においては、月3回の施設内ケース会議等で実施できた。

### 【研修実績】

開催日	研修名/（主催）	参加人数
7月7日	安全運転管理者講習 （高知県安全運転管理者協議会連合会）	1名
8月12日	南海学園との意見交換会	3名
10月4・5日 11月17・18日	高知県強度行動障害支援者養成・基礎研修 （高知県）	3名
10月15日	給食施設従事者研修会 （幡多保健所）	1名
10月25日	高知県災害派遣福祉チーム・スキルアップ研修 （高知県災害福祉支援ネットワーク会議）	1名
10月26日	BCP作成研修～感染症編 （ほけんのリック）	1名
10月28日	令和3年度 防災研修会 （高知県知的障害者福祉協会）	1名
11月8日 12月7日	高知県高齢者・障害者虐待防止・権利擁護リーダー向け研修 （社会福祉法人高知県社会福祉協議会）	1名
12月22日	高知県サービス管理責任者等実践研修 （社会福祉法人高知県社会福祉協議会）	1名

## 11. 地域連携

- ・蕨岡地区の自主防災組織の協力を得て福祉避難所運営訓練を計画していたが、コロナ感染防止の観点から実施できていない。
- ・地域の中の施設としての役割として、地域の行事や出役のお手伝いや行事等にも積極的に参加し関係づくりを計画していたが、コロナ感染防止の観点から実施できていない。
- ・地域交流の一環である蕨岡小学校との芋ほり、七夕飾りを実施することができた。

## 12. 今後の課題

昨年度は男女合同での日中活動の見直しを図ってきたが、課題も見えてきた1年であった。今年度は農耕作業を縮小して活動の一環として行うに当たっての配慮や工夫、スノーブレン室の活用を日中活動に取り入れたことによる成果や課題等を検証していく必要がある。

また、昨年度末、県の補助金により購入したICT（iPad）を使った情報の一元化を進め、職員間のリアルタイムな情報共有や記録時間の短縮による利用者へのより良い支援内容の提供、業務内容の効率化を図っていくことも課題である。

最後に、新型コロナウイルス感染（クラスター化）の反省を下に、引き続き、日々、利用者の健康観察を行い、施設にウイルスを持ち込まないため日々の職員の健康管理（体温、体調）の徹底や3密の回避、マスクの着用、手指消毒、手洗い、うがいなど感染防止策を実施し、危機管理対策として感染対策用の衛生物品の十分な備蓄を行う必要があると考えている。

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：多機能型事業所 四万十工房

事業種名：就労継続支援A型事業  
生活介護事業



# 令和3年度 多機能型事業所 四万十工房 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 利用者支援総括

#### ① 就労継続支援A型事業所 四万十工房

利用者個々の能力や障害特性に配慮しつつ、適材適所を念頭に入れた作業配置をすることで、それぞれがやりがいを感じながら仕事に取り組むことができるよう支援しました。また時間の順守や挨拶や返事、有給休暇申請の仕方等、一般就労する上で最低限必要な職場マナー等が身に着くよう支援しました。

#### ② 生活介護事業所 四万十工房

個別支援計画を基本に、利用者の人権や障害特性に配慮した支援を行いました。

生産活動では、外部の受託業務（市庁舎清掃、配管部品の並べ作業、筆の組み立て作業、百円均一商材）と農福連携によるピーマン袋詰や藁段ボール詰め作業等をごり工房と共同で行いました。

また創作活動や社会参加といった視点から、地域の市町村教育委員会主催の中村地区平和七夕祭への作品出展、岩本寺での作品展やスピリットアート展への出展、また月1回の行事で様々な社会体験が行えるよう支援してきました。

## 2. 【令和3年度の重点課題】

### (1) 利用者視点に立った支援を行いました。

### (2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

ケース会議および職員会議において、利用者の人権に配慮した支援、利用者の立場に立った支援等について話し合いをすることで虐待や不適切支援防止に努めました。令和4年度から義務化となる虐待防止委員会について年度末に研修を受け、研鑽を図ってまいりました。

### (3) 働きがいのある職場づくり

① 職員が提案や意見を述べやすいような職場環境づくりに努めました。

② 職員間で相談がしやすい環境づくりのため、「風通しの良い職場環境」について話をすると同時に、ストレスチェックを取り入れることで、職員各々のメンタル面に着目した取り組みも行ってまいりました。

## 3. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

高知県障害者生産活動支援事業補助金を活用して以下を購入。

① 電動油圧式薪割り機

② ECサイトのページ充実

### (2) 工事関係

特になし



## 5. 支援内容

### (1) 就労継続A型の日中活動

営業時間	8：30～17：15	
作業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原板仕入・原板乾燥</li> <li>● パテ・手直し</li> <li>● サンダー加工補助</li> <li>● エンドマッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 埋め木</li> <li>● 塗装補助</li> <li>● 梱包</li> <li>● モルダー加工補助</li> <li>● 薪割り作業</li> <li>● 丸太椅子作製・ディスプレイ台</li> </ul>
製品 アイテム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『桧・杉』2m・3m・4m×108×15 フローリング材</li> <li>● 『桧・杉』2m×90×10 ピーリング材</li> <li>● 『桧・杉』2m×105×10 ピーリング材</li> <li>● 丸太椅子・直径30cm～34cm×高さ40cm～50cm</li> <li>● 薪結束 長さ30cm、5kg/束（7kg/束から途中で変更）</li> </ul>	
主な 得意先	龍馬市場、西部木材センター、高幡木材センター、高知木材センター、太洋木材、入交産業、ネクストオカモト、杉本住宅産業、森岡木材、(株)M、(株)カツマジヤパン、池川木材工業 etc.	
売上	21,960,044円	

### (2) 生活介護事業所 四万十工房の日中活動

営業時間	8：30～16：30
生活支援	利用者一人ひとりの障害特性を考量して、少しでも一人で出来る事を増やせるように支援を行いました。
基本活動	<p>(趣味活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創作活動、アート作品制作、散歩、レクリエーション活動等</li> </ul> <p>(作業科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市庁舎5Fフロア清掃受託作業</li> <li>● 「M」受託作業（ポプリ、桧木材シール貼付等百均商材）</li> <li>● (株)タイム技研の受託作業（配管部品の並べ）</li> <li>● (株)コーヨーの受託作業（筆の組み立て）</li> <li>● 手芸（アクセサリー・キーホルダー等）作成</li> <li>● 農福連携作業の一環でピーマン袋詰（10月～6月）</li> </ul> <p>以上、簡単な作業を取入れる事で全員が作業に参加出来るようにしました。</p>
健康管理	内科検診（1回/年） 歯科検診（1回/年） 精神検診（1回/年）

(3) 実施行事

実施日	名称・内容等	場 所
4月	お花見	高山寺
5月	DVD鑑賞	事業所
6月	横瀬川ダム見学	横瀬川ダム
7月	かわうそ自然公園	須崎方面
8月	焼肉パーティー	事業所
9月	レクリエーション	事業所
10月	ミカン狩り、岩本寺作品展見学	鍋島
11月	四万十市展出展・見学	田野川小学校体育館
12月	クリスマス会	事業所
1月	新春ごみ拾い&お汁粉	事業所周辺
2月	節分・豆まき	事業所
3月	慰労会（焼肉&ドライブ）	宿毛・大月・土佐清水

6. 事故及びヒヤリハット ※（ ）内は昨年度の数値

事故の状況により市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (1)	4 (1)
事故報告	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)

行政報告…A型 : 10月（怪我）

生活介護： 4月（誤薬）

7. 苦情等

苦情受付・・・0件

苦情受付相談箱設置、相談担当者、第三者委員等、相談を受け付ける体制は知らせていますが、受付はありませんでした。

8. 防災対策

防災訓練を以下の通り実施しました。

実施日	内 容
7月29日	消火・通報・避難訓練
9月1日	シェイクアウト訓練（避難訓練）
1月14日	消火・避難訓練
2月25日	消火・通報・避難訓練

## 9. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数）

【 A型・・・法定支援員配置 7.5：1 】【生活介護・・・法定支援員配置 6：1 】

職 種	常 勤	非常勤	兼 務	合 計
管理者			1 (0.4)	1 (0.4)
副管理者			1 (0.3)	1 (0.3)
サービス管理責任者	1			1
生活支援員（A型）	2			2
生活支援員（生活介護）	3			3
作業指導員	1			1
事務員	0.5		1 (0.5)	1
看護師			1 (0.2)	1 (0.2)
調理員		0.5		0.5
合 計	7.5	0.5	1.4	9.4

## 10. 研修・会議等

(1) 外部研修

支援の充実を図るための職員研修を実施。

開催日	実施主体	研修名
1月24日～ 2月25日	全国社会福祉協議会	令和3年度障害者虐待防止マネジャー研修会

(2) 内部会議

- ・職員会議（毎月第3水曜日）
- ・施設運営会（第1水曜日）
- ・ケース会議（A型：毎月第2火曜日／生活介護：毎月第2木曜日）
- ・個別支援計画検討会議（8月、2月）

(3) 外部会議

高知県知的障害者福祉協会関係の施設長会、理事会および各種部会に出席。

## 11. 今後の課題

【就労継続支援A型】

- ・利用者定員10名に対して現員が7名で、非常に厳しい状態にあります。見学希望の方は居るものの利用契約には至らないのが現状です。支援学校の担当教諭や相談支援事業所への発信を継続することと、ハローワークへの登録をすることで現員増を目指したいと考えています。
- ・令和3年度の工場部門の売り上げは約2,200万円でしたが、薪の売り上げに助けられた部分があります。コロナ禍の中、薪の需要があった1年でしたが、今後の動向は不明です。家業であるフローリングの売り上げを伸ばす必要があります。そのためにこれまで取り引きをさせていただいている業者や地元の工務店等から情報収集すること、また営業活動を行っていくことを考えています。

#### 【生活介護】

- ・外出自粛等の措置が取られる中、利用者のほんの小さな希望である買い物や外出の機会が少なくなっており、不満を抱いている利用者の方が多いです。利用者を守るため、また事業継続のためには仕方のない措置ではありますが、日中活動の中で、外出の機会をつくることや少人数での買い物の場をつくること等を通して、利用者の方の精神的な負担軽減に努めたいと考えています。

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：生活介護事業所 ごり工房

事業種名：生活介護事業



# 令和3年度 生活介護事業所ごり工房 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

個別支援計画を基本に、利用者の人権や障害特性に配慮した支援を行いました。

生産活動では、外部の受託業務（ゴルフボール洗浄作業、百円均一商材）と農福連携によるピーマン袋詰や藁段ボール詰め作業等を四万十工房と共同で行いました。

また創作活動や社会参加といった視点から、地域の市町村教育委員会主催の中村地区平和七夕祭への作品出展、岩本寺での作品展やスピリットアート展への出展、また月1回の行事で様々な社会体験が行えるよう支援してきました。

## 2. 【令和3年度の重点課題】

(1) 利用者視点に立った支援を行いました。

(2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

ケース会議および職員会議において、利用者の人権に配慮した支援、利用者の立場に立った支援等について話し合いをすることで虐待や不適切支援防止に努めました。令和4年度から義務化となる虐待防止委員会について年度末に研修を受け、研鑽を図ってまいりました。

(3) 働きがいのある職場づくり

① 職員が提案や意見を述べやすいような職場環境づくりに努めました。

② 職員間で相談がしやすい環境づくりのため、「風通しの良い職場環境」について話をすると同時に、ストレスチェックを取り入れることで、職員各々のメンタル面に着目した取り組みも行ってまいりました。

## 3. 購入・工事関係

(1) 購入関係

特になし

(2) 工事関係

① 汚物槽移設工事

四万十工房（生活介護）にあった汚物槽をごり工房工場トイレに移設しました。

## 4. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

(1) 生活介護事業所 ごり工房

① 定員・現員状況 定員 20名

現員 19名（男15名・女4名）

② 利用者平均年齢 37.6歳（男性：38.5歳 女性：34.6歳）

③ 利用者状況 区分 平均障害支援区分 4.40 配置基準 5 : 1

障害支援区分	男性	女性	合計
区分 6	2	1	3
区分 5	2	1	3
区分 4	8	3	11
区分 3	2	0	2
区分 2	0	0	0
合計	14	5	19

## 5. 支援内容

個別支援計画に基づいて支援を行いました。利用者個々の状況および希望に応じて、生産活動や創作活動における支援を行いました。

### (1) 生活介護日中活動

営業時間	8 : 30～16 : 30
生活支援	利用者一人ひとりの障害特性を考慮して、少しでも一人で出来る事を増やせるように支援を行いました。
基本活動	<p>(趣味活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創作活動、スピリットアート作品制作、散歩、レクリエーション、リズム体操、ミュージックケア等</li> </ul> <p>(作業科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農福連携事業 (ピーマン・蕁のダンボール梱包等)</li> <li>● 栓製品の百均商材の受託作業</li> <li>● 端材を活用したアクセサリ・キーホルダー等グッズ作成</li> <li>● 「ケナフ」皮剥ぎ (2～3月)</li> </ul> <p>以上簡単な作業を取入れる事で全員が作業に参加出来るようにし、作業時間の厳守など、作業への取り組み姿勢の向上を図りました。</p>
社会生活・参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作成した製品を「道の駅」「ホテル」など人の集まる場所に端材工作の販売・商品補充を行いました。</li> <li>● ぼっち村と連携し、整容、挨拶等、基本的社会ルールを身につけてもらえるよう支援を行いました。</li> <li>● 衛生・健康管理については、手洗い、うがいの見守り、必要に応じて正しいやり方の支援を行いました。</li> </ul>
健康管理	内科検診 (1回/年) 歯科検診 (1回/年) 精神検診 (1回/年)

(2) 実施行事

実施月	名称・内容等	場 所
4月	森林浴	香山寺
5月	DVD鑑賞	事業所
6月	ドライブ・散策	足摺方面・宿毛方面
7月	ドライブ・散策	下田公園・佐賀公園
8月	B B Q	事業所
9月	貝殻拾い・ドライブ	西泊・宿毛方面
10月	ミカン狩り・岩本寺作品展見学	鍋島・窪川
11月	DVD鑑賞	事業所
12月	クリスマス会	椰子
1月	DVD鑑賞	事業所
2月	フルーツ恵方巻き・豆まき	事業所
3月	ドライブ・買い物	西泊（どんぐり公園）

6. 事故及びヒヤリハット ※（ ）内は昨年度の数値

事故の状況により市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (1)
事故報告	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)									

7. 苦情等

苦情受付・・・0件

苦情受付相談箱設置、相談担当者、第三者委員等、相談を受け付ける体制は知らせていますが、受付はありませんでした。

8. 職員体制

(1) 職員体制（令和4年3月31日現在 在職者数）

【生活介護・・・法定支援員配置 5：1】

職 種	常 勤	非常勤	兼 務	合 計
管理者			1 (0.3)	1 (0.3)
副管理者			1 (0.4)	1 (0.4)
サービス管理責任者	1			1
生活支援員	4	0.5	1.0	5.5
事務員			1 (0.5)	1 (0.5)
看護師			1 (0.2)	1 (0.2)
調理員		0.5		0.5
合 計	5	1	2.4	8.4

## 9. 研修・会議等

### (1) 外部研修

支援の充実を図るための職員研修を実施。

開催日	実施主体	研修名
10月4日～5日	高知県	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
2月14日～15日	高知県	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）
1月24日～ 2月25日	全国社会福祉協議会	令和3年度障害者虐待防止マネージャー研修会

### (2) 内部会議

- ・職員会議（毎月第3水曜日）
- ・施設運営会（第1水曜日）
- ・ケース会議（毎月第2火曜日）
- ・個別支援計画検討会議（8月、2月）

### (3) 外部会議

高知県知的障害者福祉協会関係の施設長会、理事会および各種部会に出席。

## 10. 防災対策

防災訓練を以下の通り実施しました。

実施日	内 容
7月29日	消火・通報・避難訓練
9月1日	シェイクアウト訓練（避難訓練）
1月14日	消火・避難訓練
2月25日	消火・通報・避難訓練

## 11. 今後の課題

新体制の定着・安定、職員の支援力向上等があります。いずれの課題も一朝一夕に達成できるものではなく、優先度を考慮し少しずつ積み上げていきたいと考えています。また、外出自粛等の措置が取られる中、利用者のほんの小さな希望である買い物や外出の機会が少なくなっており、不満を抱いている利用者の方が多いです。利用者を守るため、また事業継続のためには仕方がない措置ではありますが、日中活動の中で、外出の機会をつくることや少人数での買い物の場をつくること等を通して、利用者の方の精神的な負担軽減に努めたいと考えています。

令和 3 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：共同生活援助事業所 ぼっちり村

事業種名：共同生活援助事業（介護サービス包括型）



# 令和3年度 共同生活援助事業所 ぼっちり村 事業報告書

## 1. 事業の実施状況

### (1) 運営方針

- ① 本人の「思い」を尊重し、個々の能力や障害特性に考慮しながら、ニーズに基づいた個別支援計画を作成し、利用者主体の支援を行いました。
- ② リスクマネジメントとして、適宜各種マニュアルの整備・見直しを行いながら事故防止を図り、事故発生時には迅速適切な対応ができるよう努めました。
- ③ 職員研修などにより支援の質の向上を目指し、「利用者に選ばれる事業所」となるよう努めました。

## 2. 【令和3年度の重点課題】

### (1) 利用者視点に立った支援を行いました。

### (2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

職員全員が虐待防止マニュアルを遵守し、虐待及び不適切支援防止に取り組み職員会など周知を図りました。

### (3) 働きがいのある職場づくり

- ① 職員が意見や提案を行うことができる職場環境整備に努めました。
- ② 職員の希望を業務上支障のない範囲で、できる限り反映した勤務の組み立てをするとともに、年間の年次有給休暇の取得5日以上をクリアしました。

### (4) レクリエーション

コロナ感染症の影響であまり実施できませんでした。

## 3. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

◎各ホームの経年劣化等で使用できなくなった家電について交換設置をしました。

R3.4	うさぎ荘 ガスコンロ
R3.6	うさぎ荘 掃除機 のぞみ荘 掃除機
R3.9	いちご荘 洗濯機 とき荘 洗濯機
R4.3	いちご荘 シーリングライト こだま荘 食器乾燥機

### (2) 工事関係

◎令和3年度事業計画に基づき、以下について施工・設置しました。

R3.4	あおい荘配電盤
R4.3	あおい荘 駐輪場（屋根）

#### 4. 利用者支援

地域の中で社会生活を営むために、規則正しい生活リズムを基本とし、健康な暮らしの継続と生活の質の向上に取り組みました。身体状態だけでなく、精神状態の些細な変化に気付くことができるよう、観察とコミュニケーションに重点を置き、支援にあたりました。

##### 【支援内容】

①食事提供支援	平日（通所開所日）朝・夕 休日（通所閉所日） 朝・昼・夕
②環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各ホームの居室及び共有スペースの整理・清掃の支援</li> <li>② 各利用者の私物（衣類など）の確認・管理及び処分などの支援</li> <li>③ 利用者に対する環境整備の意識付け・スキル習得への支援</li> <li>④ 感染症予防対策</li> </ul>
③健康管理支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康状態のチェック</li> <li>② 生活習慣病の予防・・・注意喚起・受診勧奨・食事調整</li> <li>③ 病院受診・通院支援と静養時の支援</li> <li>④ 感染症予防対策</li> <li>⑤ 看護師による健康管理についての助言・指導</li> </ul>
④相談・助言支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会生活上の法令遵守と共同生活におけるルールとマナー</li> <li>② 体調管理</li> <li>③ 対人関係の不安や悩み</li> <li>④ 将来の進路</li> </ul>
⑤余暇支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 散歩や運動の同行支援</li> <li>② 外食支援</li> <li>③ 買い物同行支援・代行支援</li> <li>④ 地域行事への参加調整</li> <li>⑤ イベント・行事などの企画・運営</li> </ul>
⑥金銭出納支援	共同生活援助サービスに係る費用や、その他の費用（小遣いなど）の金銭管理
⑦家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本人及び家族のニーズの把握</li> <li>② 帰省の連絡調整（週末・年末年始・GW・盆など）</li> <li>③ 必要事項の連絡・報告</li> </ul>
⑧緊急時支援	緊急時は「緊急時対応マニュアル」に基づき対応

## 5. 利用者状況（令和4年3月31日現在）

(1) 利用者定員・現員 定員 44名（8ホーム合計）

現員 39名（男性：26名 女性：13名）

※令和4年4月1日より、各ホーム定員5名、総定員数40名に変更届出済み。

(2) 利用者平均年齢 42.7歳（男性：41.8歳 女性：45.9歳）

(3) 入退去予定 退去の予定は中止。入居1名（男性）を調整中。

(4) 各ホームの状況

No.	ホーム名	障害支援区分								
		1	2	3	4	5	6	合計	平均区分	平均年齢
1	ひかり荘	0	3	1	1	0	0	5	2.6	41.0歳
2	のぞみ荘	0	0	1	3	1	0	5	4.0	42.0歳
3	こだま荘	1	1	2	1	0	0	5	2.6	47.8歳
4	やまびこ荘	0	0	2	2	1	0	5	3.8	35.6歳
5	とき荘	0	0	1	3	0	0	4	3.8	49.0歳
6	いちご荘	0	0	1	3	1	0	5	4.0	42.6歳
7	うさぎ荘	0	0	2	2	1	0	5	3.8	42.4歳
8	あおい荘	0	4	1	0	0	0	5	2.2	41.3歳
	男性利用者	1	4	7	11	3	0	26		41.8歳
	女性利用者	0	4	4	4	1	0	13		45.9歳
	合計	1	8	11	15	4	0	39		42.7歳

(5) 利用者通所・就労状況

ホーム名	生活介護	就労継続支援A型	一般就労
ひかり荘	1名	2名	警備会社1名・清掃業1名
のぞみ荘	5名		
こだま荘	1名	2名	清掃業1名・塗装業1名
やまびこ荘	5名		
とき荘	4名		
いちご荘	4名	1名	
うさぎ荘	4名		ハウスキーパー 1名
あおい荘I	1名		ハウスキーパー 3名 ホテル清掃1名
合計	25名	5名	9名
	39名		

## 6. 看護関係

### (1) 看護部実施記録

月	日	ごり工房	四万十工房（生活介護）	ぼっちり村
4	8 27	看護部会参加 内科検診		
5	14	検尿（25日二次検査）		
6	25	看護部会参加		
7	26～30	新型コロナワクチン集団接種1回目		左同
8	16～20	新型コロナワクチン集団接種2回目		左同
9	22			服薬指導
10	12	検尿（29日二次検査）		
11	12～29	インフルエンザ予防接種		左同
	12	感染対策委員会（感染症BCP作成）		
	25	歯科検診		
12		なし		
1	13	感染対策委員会（感染症BCP作成）		
2	17	看護部会参加		
3	18	精神科検診		コロナ感染症対応
	22～25	拠点内新型コロナ陽性者発生		

※新型コロナ感染症流行にて今年度見送った事業

- ・内科・精神科検診（例年2回、今年度1回のみ）
- ・性教育講習、吐物処理講習、AED講習

### (2) 事業所別取り組み

- ごり・四万十工房： 血圧及び体重測定（月1回）
- 四万十工房（A型）： 健康診断（年1回）実施計画および個別健康相談（健診後フォロー）
- ぼっちり村： 市役所各種がん検診対象者の検診（肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）、各利用者通院計画
- 感染対策： 新型コロナ感染症予防徹底のための対策実施、環境整備、物品管理、備蓄準備、感染症BCP作成協力

### 【 来年度課題 】

- 新型コロナ感染予防対策： 感染予防の徹底
- ぼっちり村： 歯科はみがき指導強化（事業所での活動の協力を得て実施予定）

## (3) 通院記録表(延人数)

		精神科	内科	整形	外科	泌尿器	皮膚科	耳鼻科	眼科	齒科	婦人科	合計
4月	実人数	14	7	1			2	4		6	1	27
	延人数	14	8	1			2	5		9	1	41
5月	実人数	15	6	1	1		3	1		4	1	31
	延人数	16	6	1	8		3	1		7	1	34
6月	実人数	14	7		1			2		5		33
	延人数	15	8		8			2		6		38
7月	実人数	16	9		1		1	4	1	7		31
	延人数	16	12		6		1	4	1	14		35
8月	実人数	17	9				1			5		27
	延人数	30	9				1			9		32
9月	実人数	20	9	2				4	2	6		31
	延人数	21	11	3				4	2	9		36
10月	実人数	16	6		1			2	2	7		50
	延人数	17	6		1			2	2	14		58
11月	実人数	15	4	2	1		1		1	9		44
	延人数	16	4	2	1		1		1	12		87
12月	実人数	17	6	1			1	5	1	10		44
	延人数	17	6	1			1	5	1	19		57
1月	実人数	16	4				1	3	1	9		31
	延人数	16	5				1	3	1	13		46
2月	実人数	16	8				1		1	1		39
	延人数	17	9				1		1	1		45
3月	実人数	16	10		2		1	2		12		44
	延人数	16	10		5		1	3		18		50
合計	実人数	192	85	7	7		12	27	10	81	2	432
	延人数	211	94	8	29		12	29	10	131	2	559

※労災…1名

## (4) 入院集計

	病 院 名	期 間	転機
1 件目	幡多けんみん病院	5 月 6 日～12 日	軽快
2 件目	木俵病院	6 月 17 日～21 日	軽快
3 件目	聖ヶ丘病院	10 月 23 日～24 日	

## 7. 職員体制

### (1) 雇用形態

#### 【職員体制】

雇用形態	女性	男性	合計
正職員	1	1	2
臨時職員（世話人・生活支援員）	3	0	3
再雇用職員（世話人・生活支援員）	9	0	9
パート職員（世話人・生活支援員）	4	3	7
合計	17	4	21

### (2) 職員配置状況

サビ管：30：1 1.5人

世話人：配置基準 6.74人

生活支援員：配置基準 4.37人

職種	常勤	非常勤	兼務	合計	配置基準
管理者			1	1	1（兼務）
サービス管理責任者	1		0.5	1.5	1.5
世話人	7	0.5		7.5	6.74
生活支援員	2	2.1	0.5	4.6	4.37
合計	10	2.6	2	14.6	

※岩田地区の大規模住宅減算対象を回避するためうさぎ荘は別建ての勤務体制

世話人：配置基準 1.14人

生活支援員：配置基準 0.88人

職種	常勤	非常勤	兼務	合計	配置基準
世話人	1	0.3		1.3	1.14
生活支援員	1			1	0.88
合計	2	0.3		2.3	

※合計数に管理者を含む

※令和4年4月1日より、定員数変更となり、上記の「大規模住宅減算対象」は回避されました。

(3) 職員勤務状況

勤務場所	ホーム名	勤務内容		
市内	ひかり荘 こだま荘 あおい荘	世話人（開所日） 5:30 ～ 8:00 16:00～20:00 （閉所日） 10:00 ～ 13:00 14:30～18:00 生活支援員		
		<table border="1"> <tr> <td>代替世話人</td> <td>世話人に準ずる</td> </tr> <tr> <td>日 勤</td> <td>9:00 ～ 16:30</td> </tr> </table>	代替世話人	世話人に準ずる
代替世話人	世話人に準ずる			
日 勤	9:00 ～ 16:30			
岩田地区 (のぞみ荘含む)	やまびこ荘 とき荘 いちご荘 うさぎ荘  のぞみ荘 (市内)	世話人（開所日） 6:00 ～ 8:30 16:00～20:00 （閉所日） 6:00 ～ 13:15 12:45～20:00 生活支援員		
		<table border="1"> <tr> <td>代替世話人</td> <td>世話人に準ずる</td> </tr> <tr> <td>日 勤</td> <td>9:00 ～ 16:30</td> </tr> </table>	代替世話人	世話人に準ずる
代替世話人	世話人に準ずる			
日 勤	9:00 ～ 16:30			
ぼっちり村 事務所		サービス管理責任者 8:30 ～ 17:30 生活支援員 8:30 ～ 17:30		
※各ホーム世話人は常勤で配置。				

8. 虐待・事故・苦情等

(1) 虐待

令和3年度においては虐待・不適切支援に認定されるものはありませんでしたが、今後とも権利擁護・虐待防止研修に参加していくと共に、虐待を未然に防止するための組織作りに努めます。

(2) 事故・ヒヤリハット ※（ ）内は昨年度の数値

事故の状況により、市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	4 (4)
事故報告	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)								

行政報告… 9月12日 落葉（いつ落ちたものか不明のため、行政報告）

(3) 苦情等

苦情受付・・・0件

苦情受付相談箱設置、相談担当者、第三者委員等、相談を受け付ける体制は知らせていますが、受付け件数はありませんでした。

## 9. 防災訓練

実施日	内 容	備 考
6月25日	火災通報・消火・避難訓練	
7月29日	地震・火災避難訓練	三事業所合同
8月25日	火災通報・消火・避難訓練	
9月1日	シェイクアウト訓練及び避難訓練	四万十市 三事業所合同
10月22日	火災通報・消火・避難訓練	
12月22日	火災通報・消火・避難訓練	
1月14日	地震・火災避難訓練	三事業所合同
2月25日	地震・火災避難・通報訓練	三事業所合同

※新型コロナの関連でぼっちり村の火災通報・消火・避難訓練2月分は中止としました。

## 10. 避難場所

	ホーム名	避難場所
1	岩田地区4ホーム (やまびこ・とき・いちご・うさぎ荘)	ごり工房2階食堂 岩田地区集会所
2	ひかり荘	具同小学校・防災センター
3	のぞみ荘・あおい荘	中村小学校・市役所
4	こだま荘	中村南小学校

## 11. イベント行事

※新型コロナの感染防止の観点から、多くのイベント行事が自粛・不参加となりました。  
実施できたものは以下のとおりです。

実施月	予 定	場 所	参加者
2月	豆まき	岩田地区	15名

## 12. 研修・会議等計画

### (1) 研修

支援サービスの充実を図る為の職員研修に参加しました。(新型コロナ対策でWEB開催)

開催日	実施主体	研修名
7/15	高知県社会福祉協議会	虐待防止・権利擁護研修
10/25, 26	高知県社会福祉協議会	研修担当者研修会
11/11	高知県知的障害者福祉協会	職員研修会

### (2) 会議

※新型コロナ感染状況を踏まえ、延期、中止、文書配布などで対応したものがああります。

ぼっちり村職員会	毎月	25日を目安 8:30より
岩田地区職員会	毎月	第3水曜日
ケース検討会議	適宜	必用に応じて随時
岩田地区運営会議	毎月	第1水曜日 管理者・主任・副主任・サビ管
個別支援計画検討会議	年2回	8月・2月を目安 (必要に応じて随時)

### 1.3. 関係機関及び地域との連携

#### (1) 行政機関（各市区町村役場・福祉事務所など）との連携

各利用者について必要に応じ適切に情報提供、協力体制を図ることができています。

#### (2) 医療機関（病院など）との連携

看護師を中心として、医療機関との連絡調整をしながら受診計画を立てて実行することができました。

新型コロナワクチン接種についても、木俵病院との協力・連携で全利用者・全職員が3回目接種を終了しています。

#### (3) 消防・警察との連携

防災訓練等、必要に応じた協力・連携ができています。今後も想定される様々な災害に対する防災訓練への協力要請、緊急時の対応指示、救急搬送等の要請、防犯・交通ルールについても指導要請や、注意喚起等の協力要請とともに、利用者不明時の捜索等についても同じく連携しながら対応するようにしていきます。

#### (4) 地域との連携

新型コロナの感染状況を踏まえながら可能な範囲で清掃活動、地区合同地震防災訓練、ボランティア活動など地域行事に参加し、今後も地域住民との交流を図るとともに、同じ地域住民として存在を知ってもらえる関係づくりに努めます。

### 1.4. 課題について

#### (1) 夜間支援体制について

職種転換希望者がおり、世話人および生活支援員の確保ができれば体制確立となる見通しです。

#### (2) グループホームの編成について

各ホームの利用者を5名に調整しました。届出により各ホーム定員5名となりました。

#### (3) 職員配置について

① 岩田地区の大規模住居減算対象は、届出により回避できました。それに伴いうさぎ荘の勤務体制を別建てする必要がなくなり、勤務体制を統一できるようになりました。

② 職員の高齢化、支援の質の担保、夜間支援体制確立後の生活支援員の配置基準などの課題は解決していませんが、継続して職員募集するとともに、人数確保ができ次第、各ホームの支援の平準化と支援の質の向上を目的として世話人のホーム替えを行います。